



尾形英明議員

がれき処理

進捗状況と今後の見通しは

処理率5・2%、独自でも処理

質問 震災から1年3カ月、本町のがれきも静岡県等に受け入れていただき徐々に片付いてきたが、進捗状況は。また、今後の見通しは。県に任せきりでなく、町独自で処理計画を立て、地元業者に発注する考えはないか。

る。処理量は約3万トンで、5・2%の処理率である。災害廃棄物については、仮置き場までの運搬を町で行い、それ以降については県に処理を委託しており、広域処理の推進など、県と連携を図り進めていく。漁網、漁具などの廃棄物については、早期復旧を図るべく町が独自で処理を行っている。

農林被害

放射性物質の汚染対策は

損害賠償請求できる

質問 ①生シタケの出荷規制による損害賠償請求ができるのか。
②マツタケ等に検出された場合の補償はあるのか。また、マツタケの卸業者にも該当するか。

①東京電力東北補償相談センターから補償の考え方などの説明を受けたので、損害賠償請求ができる。
②生シタケと同様である。マツタケ等が基準値を超えた場合、これを生業としてしている方にも損害賠償請求の指導をする。

沼崎町長

議員4人が一般質問

建設行政

道路維持管理の充実を

災害復旧事業等で対処

質問 町道の舗装路面に亀裂や穴ぼこ、豪雨による路肩決壊などの道路災害が見受けられる。早急に調査し対処しては。

沼崎町長

町道の傷みや豪

雨などの災害による被害については、通報による現場確認や道路パトロールを実施し、維持補修事業や災害復旧事業等により対処している。



がれき処理の様子